



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日
東

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所
 コード番号 2812 URL https://www.yskf.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 潤
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,598	△9.9	180	△20.5	196	△22.9	110	△36.7
2020年3月期第1四半期	3,994	2.6	227	35.2	255	40.9	175	56.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 307百万円(200.3%) 2020年3月期第1四半期 102百万円(△58.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	9.04	—
2020年3月期第1四半期	14.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	22,764	19,668	86.4
2020年3月期	22,295	19,533	87.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 19,668百万円 2020年3月期 19,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,500	△14.8	50	△88.9	50	△89.5	0	△100	0.00
通期	13,000	△12.9	100	△87.9	150	△83.1	50	△84.2	4.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	13,056,198株	2020年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	789,115株	2020年3月期	789,115株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	12,267,083株	2020年3月期1Q	12,267,153株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式には、監査等委員でない取締役(社外取締役を除く)への株式報酬制度のために設定した信託口が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、2022年3月までの3ヵ年中期経営計画「Create Next YSK」に基づき、“おいしさ”と“健康”で価値創造フィールドを拡大し、顧客に支持される食品メーカーへ成長することをビジョンとした取り組みを進めておりました。しかしながら、昨年判明した当社製品の一部における不正表示問題の影響や、新型コロナウイルス感染症の今後の見通しが不透明であることから、当該中期経営計画の見直しを進めています。その見直し内容につきましては適時公表致します。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大で様々な活動が制限されたことにより景気後退が進みました。また、緊急事態宣言は解除されたものの、依然として本格的な経済活動の再開のめどは立っておらず、先行きは厳しい状況です。

食品業界では、外出自粛による外食機会の減少や巣ごもり消費の増加など、お客様の消費行動に大きな変化があり、業態により濃淡はあるものの、総じて厳しい経営環境が続いています。

このような環境のなか、当社グループでは、食品の供給という社会的役割を果たすべく、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、従業員の健康管理の徹底、テレワークや分散勤務、時差出勤など感染リスク低減を目的とした勤務体制の見直しなどを行いつつ、製品の安定生産・供給に取り組んできました。

連結売上高につきましては、前連結会計年度における不正表示問題の影響や今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売活動の停滞等により、35億98百万円（前年同期比3億95百万円、9.9%減）となりました。利益面につきましては、売上構成の変化に伴い利益率が改善したものの売上高が減収となったことから、連結営業利益は1億80百万円（同46百万円、20.5%減）となりました。また、連結経常利益は、1億96百万円（同58百万円、22.9%減）となったほか、不正表示に係る品質関連損失24百万円を特別損失に計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益は1億10百万円（同64百万円、36.7%減）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種香辛料の製造販売に関するセグメントです。前連結会計年度における不正表示問題の影響や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売活動の停滞等により、液体調味料、粉体調味料、香辛料ともに売上が減少しました。その結果、調味料セグメントの売上高は、17億11百万円（前年同期比1億61百万円、8.6%減）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの売上高の減少により1億90百万円（同21百万円、10.4%減）となりました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売に関するセグメントです。機能食品は市場環境の変化により主力商品の苦戦が続いており売上が伸ばすことが出来なかったものの、注力素材であるアンセリンで機能性表示食品の新規採用が進んだほか既存取引先商品の売上増により機能性食品素材の売上が増加しました。その結果、機能食品セグメントの売上高は、6億99百万円（同48百万円、7.5%増）となりました。セグメント利益は、売上高増加要因や売上構成の変化により、1億83百万円（同26百万円、16.9%増）となりました。

(水産物)

水産物は、冷凍鮪・冷凍鯉の原料販売及び加工製品の製造販売に関するセグメントです。新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりテイクアウト・宅配関係の販売は堅調に推移しましたが、業務筋・その他の外食関係の販売が低調に推移したことにより前期比大幅な減収となりました。その結果、水産物セグメントの売上高は、9億72百万円（同2億11百万円、17.8%減）となりました。セグメント損益は、経費の削減等に努めましたが、減収及び売上原価率上昇によりセグメント損失4百万円（前年同期はセグメント利益23百万円）となりました。

(その他)

その他は、化粧品通信販売及びその他商品の販売に関するセグメントです。化粧品通信販売及びその他商品の販売が共に伸び悩み、その他セグメントの売上高は、2億14百万円（同72百万円、25.1%減）となりました。セグメント利益は、売上高の減少により3百万円（同1百万円、32.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ4億69百万円増加し、227億64百万円となりました。

流動資産は、商品及び製品が1億14百万円、原材料及び貯蔵品が1億74百万円増加したこと等により2億54百万円増加し、148億72百万円となりました。

固定資産は、期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が80百万円減少した一方、保有株式の時価の上昇により投資有価証券が2億83百万円増加したこと等により2億15百万円増加し、78億92百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が1億67百万円、賞与引当金が85百万円増加したこと等により2億47百万円増加し、26億97百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が81百万円増加したこと等により85百万円増加し、3億98百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が1億10百万円となった一方、配当金の支払い1億72百万円により利益剰余金が61百万円減少したほか、その他有価証券評価差額金が1億96百万円増加したことにより1億35百万円増加し、196億68百万円となりました。

この結果、自己資本比率は86.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月11日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,098,849	9,118,095
受取手形及び売掛金	3,114,562	3,097,497
商品及び製品	809,465	923,507
仕掛品	109,457	83,964
原材料及び貯蔵品	1,428,437	1,602,857
その他	58,472	47,369
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	14,618,245	14,872,291
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,892,191	1,854,486
機械装置及び運搬具(純額)	786,554	743,894
土地	2,603,175	2,603,175
リース資産(純額)	2,652	2,055
建設仮勘定	—	880
その他(純額)	68,948	68,116
有形固定資産合計	5,353,523	5,272,609
無形固定資産	81,718	81,417
投資その他の資産		
投資有価証券	1,867,373	2,151,138
退職給付に係る資産	185,351	202,193
繰延税金資産	12,628	9,676
その他	180,709	179,338
貸倒引当金	△4,321	△4,321
投資その他の資産合計	2,241,740	2,538,025
固定資産合計	7,676,982	7,892,053
資産合計	22,295,227	22,764,345

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,044,501	1,212,063
短期借入金	700,000	700,000
リース債務	2,501	2,145
未払法人税等	54,351	72,054
未払消費税等	29,663	31,780
賞与引当金	130,857	216,407
その他	487,839	462,942
流動負債合計	2,449,713	2,697,394
固定負債		
リース債務	363	74
繰延税金負債	263,106	345,101
退職給付に係る負債	21,391	22,204
役員株式給付引当金	27,306	30,719
固定負債合計	312,167	398,099
負債合計	2,761,881	3,095,493
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,422,547	3,422,547
利益剰余金	12,601,882	12,540,759
自己株式	△783,151	△783,151
株主資本合計	18,858,920	18,797,798
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	674,424	871,053
その他の包括利益累計額合計	674,424	871,053
純資産合計	19,533,345	19,668,851
負債純資産合計	22,295,227	22,764,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,994,334	3,598,847
売上原価	3,113,556	2,779,020
売上総利益	880,777	819,826
販売費及び一般管理費	653,284	638,918
営業利益	227,492	180,908
営業外収益		
受取利息	80	706
受取配当金	17,440	19,395
受取賃貸料	4,963	4,886
補助金収入	13,505	400
その他	6,291	7,258
営業外収益合計	42,280	32,647
営業外費用		
支払利息	535	512
減価償却費	8,631	8,201
その他	5,131	7,945
営業外費用合計	14,298	16,659
経常利益	255,474	196,895
特別損失		
固定資産除却損	101	360
災害損失	—	31
品質関連損失	—	24,898
特別損失合計	101	25,290
税金等調整前四半期純利益	255,372	171,605
法人税等	79,975	60,614
四半期純利益	175,397	110,990
親会社株主に帰属する四半期純利益	175,397	110,990

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	175,397	110,990
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,943	196,628
その他の包括利益合計	△72,943	196,628
四半期包括利益	102,453	307,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	102,453	307,619
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

前連結会計年度において当社製品の一部における不正表示（以下「本事案」）が判明したことに伴い、本事案に関する費用について、可能な範囲において品質関連損失に計上しています。今後も本事案に関する費用が発生する可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることが困難なため、四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,873,010	650,506	1,183,810	3,707,327	287,006	3,994,334	—	3,994,334
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	3,737	3,737	—	3,737	△3,737	—
計	1,873,010	650,506	1,187,547	3,711,064	287,006	3,998,071	△3,737	3,994,334
セグメント利益	212,013	156,990	23,397	392,401	5,220	397,621	△170,128	227,492

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益の調整額△170,128千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,711,894	699,492	972,532	3,383,919	214,927	3,598,847	—	3,598,847
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	5,308	5,308	—	5,308	△5,308	—
計	1,711,894	699,492	977,841	3,389,227	214,927	3,604,155	△5,308	3,598,847
セグメント利益 又は損失(△)	190,024	183,570	△4,130	369,464	3,534	372,999	△192,091	180,908

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△192,091千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。